市議会定例会

平成24年第3回常陸大宮市議会定例会が、9月3日から26日まで開会されました。この定例会で、次の議案の審議が行われ、それぞれ認定及び可決されました。

●市長提出議案●

平成23年度決算

○常陸大宮市一般会計歳入歳出決算ほか特別会計（11会計）歳入歳出決算の認定について

条例

○常陸大宮市暴力団排除条例
○常陸大宮市移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
○常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
○常陸大宮市税条例の一部を改正する条例
○常陸大宮市火災予防条例の一部を改正する条例

平成24年度補正予算

○常陸大宮市一般会計補正予算ほか特別会計（7会計）補正予算

その他

○城北地方広域事務組合の解散について
○城北地方広域事務組合の解散に伴う財産処分について
○那珂地方公平委員会規約の変更について
○茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
○指定金融機関の指定について
○市道路線の廃止について

下水道いろいろコンクールで入選

平成23年度第51回下水道の日「下水道いろいろコンクール」の作文部門で入選した美和小学校3年生（応募当時）大瀧唯斗（ゆいと）くんが、9月4日、報告のため市役所を訪れました。

このコンクールは、全国の小中学生及び一般の方を対象に、9月10日の「下水道の日」にちなみ、下水道に興味を持ち、理解を深め、下水道の健全な発達に役立つことを目的として行われています。

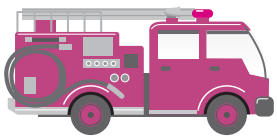
部門応募総数は1102点でした。

常陸大宮市消防本部が表彰されました

9月4日、2012年度県救急医療功労者知事表彰式が県庁で行われ、団体の部で常陸大宮市消防本部が表彰されました。

この表彰は、救急の日（9月9日）を含む救急医療週間（今年度は9月9日～15日）に合わせ、1983年から毎年行われているものです。

6団体と個人33人に表彰状が贈られました。



常陸大宮市の元気っ子がサマーキャンプ

8月21日から24日まで3泊4日の日程で、旧盛金小学校を主会場として、「元気っ子・サマーキャンプ」が行われ、市内小学5年生30人（男15・女15）が参加しました。

地元の盛金WAC協議会の全面的な協力をいただき、熊の山登山や小石でアートなど、盛りだくさんのプログラムを体験し、テントでの宿泊も楽しみました。猛暑のなか、子どもたちは元気よく頑張りました。

「自分たちで協力して作った食事がとてもおいしかった」などの感想が多くありました。

おしゃれな動物ができました

8月24日、夏休み工作教室「おしゃれな動物たち」が図書情報館で開催され、市内の小学生約30人が参加しました。

参加した児童たちは、野沢二郎先生の指導のもと、針金や新聞紙を使い、うさぎや馬など、それぞれ好きな動物を上手に表現し、持ち寄った端切れなどを貼り付け、おしゃれな動物たちを完成させました。

市民号で国立科学博物館へ

8月26日、子どもたちを対象に水郡線を利用した「常陸大宮市民号」が実施されました。これは、市民相互の親和と水郡線利用の促進・啓発を図るために行われたものです。

136人の参加者は市内の4つの駅（山方宿・野上原・玉川村・常陸大宮駅）からそれぞれ乗車し水戸駅へ向かいました。そして、水戸駅から常磐線に乗り換え上野駅へ。目的地の国立科学博物館では自由行動で思い思いの時間を過ごし、楽しいひと時を過ごしました。普段は水郡線を利用する機会は少ないという方がほとんどでしたが、水郡線の利便性を経験することができた旅となりました。

広報常陸大宮・ホームページ
掲載広告募集中！
広報紙　半枠（縦45mm×横　85mm）：9,000円/回
全枠（縦45mm×横175mm）：18,000円/回
＊詳しくはホームページをご覧いただくか、本庁総務課行政改革推進室（☎52−1111　内線322）までお問い合わせください。
URL　http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

しいたけ原木除染機の試運転を行いました

9月13日、しいたけ栽培農家で構成する茨城みどり農業協同組合椎茸部会（部会長　関博司）はしいたけ原木除染機の試運転を実施しました。

この機械はしいたけ栽培に使用する原木に水を高圧で吹きかけ、内蔵ブラシで洗浄し、放射性セシウムを低減させるもので、市及びＪＡの補助により、2台購入しました。

10月からの実証実験を前に、試運転が行われ、多くのしいたけ栽培農家の方が集まりました。

▲ごろごろ回転し、除染される原木

長寿を祝って ～各地で敬老会開催～

敬老の日にあたり、9月18日と27日と28日、市長、副市長、保健福祉部長が、１００歳以上のご長寿の方々を訪問し、市及び市社会福祉協議会から祝い金や記念品を贈りしました。そして、今年度１００歳を迎えられる方には、内閣総理大臣と県知事からの褒状・記念品を贈り長寿をお祝いしました。

また、市内各地域で、市内在住の75歳以上の方を招いて長寿のお祝いの会が催されました。

▲美和地域敬老会

市内100歳以上の皆さん

9月1日現在、市内の65歳以上の人口は13437人で、うち100歳以上の方は45人（男性7人、女性38人）で昨年より3人増えました。

次の表は、平成24年度中の１００歳以上の皆さんです。

年齢	氏　名（住所）
107	小野瀬　く　に（山　方）
105	鹿　島　　一（野　上）
104	但　野　サ　キ（野口平）
104	會　澤　　節（諸　沢）
104	桑　名　ト　ミ（下檜沢）
103	金　子　ふちの（鷹　巣）
103	長　山　ヒ　テゑ（下小瀬）
103	小　林　り　ゑ（野　口）
102	川　野　秀　雄（鷲　子）
102	青　山　はるの（檜　山）
102	渡　辺　ふ　さ（照　山）
102	野　上　みさを（八　田）
101	小　泉　よ　ね（鷹　巣）
101	藤　田　け　さ（鷹　巣）
101	岡　崎　よ志の（上小瀬）
100	小　野　と　し（中　居）
100	立　原　と　き（西野内）
100	須　能　し　ん（　泉　）
100	金　沢　スガノ（下　町）
100	相　河　タ　マ（高　部）
100	木　村　あゐね（舟　生）
100	小　林　よ　ね（小　場）
100	青　柳　き　く（下檜沢）

年齢	氏　名（住所）
100	只　野　やゑに（上岩瀬）
100	石　川　くにこ（塩　原）
100	黒　沢　みつ子（野　上）
100	樫　村　みかね（　泉　）
99	青　山　キクノ（檜　山）
99	古　室　ハツ子（秋　田）
99	大　槻　きみノ（下　町）
99	大　武　シナノ（千　田）
99	猪　野　ハンノ（野　口）
99	君　嶋　すて（小　野）
99	坏　　誠（　泉　）
99	野　上　キヌ（八　田）
99	石　川　魁治（下檜沢）
99	髙　沢　カト（野口平）
99	平　塚　定芳子（上檜沢）
99	萩　谷　ヨ　子（上　町）
99	木　村　サヨミ（氷之沢）
99	小　室　トク（千　田）
99	髙　岡　ウメノ（上　町）

９月１日現在　　敬称略

※掲載を希望されない方の氏名は掲載していません。

市民の方からの　まちのできごと

63年ぶりの巡行

入檜沢風流物保存会　会長　小室　士朗

高部入檜沢には、古くから伝わる山車と、山車を組み立てたまま保管する山車小屋があります。

年１回「虫干し」をし、３年ごとに小屋の周りで山車を囲んで「いりひざわ風流物夏祭り」と称して祭りを開催し、地区住民の親睦･交流の場となっています。

今回、地区内を練り歩こうという気運が高まり、８月25日に地区の一部の区間ではありましたが、練り歩くことができました。実に63年ぶりのことです。当日は天気にも恵まれ、地区内外から多くの方が訪れ、にぎやかな祭りとなりました。

今後も定期的に開催し、先人から受け継いだ大切な地区の文化遺産を、次の代へ引き継いでいきたいと思っています。

いっしょにまちづくり

理容店経営
田村　勇光さん

インターネットで活性化の第一歩

昨年秋から、フェイスブック※を始めました。インターネットにはあまり詳しくありませんでしたが、これは安全なものだとわかり挑戦し、それが今、驚くような結果になっています。

フェイスブックは、世界中とつながりますが、もちろん常陸大宮の人たちともつながることができます。今般、市内でフェイスブックを利用している人たちと数人で「常陸大宮FB会」というグループを作りました。その結果、常陸大宮市の世代・職業・性別を超えた人たちがどんどん集まり、その輪は更に成長中です。この交流はインターネットの世界を超えて、実際の対面交流へと発展し、地元への貢献をしようと会発案で作成したアユのステッカーは大好評。

私たちの理美容業界でもフェイスブックの活用を強く推奨していて、この動きは全国的なものになりつつあり、仕事にも大いに役立っています。

インターネットを活用した今までにない、自由で緩やかなつながりが、常陸大宮市を活性化していくかもしれません。

※パソコンや携帯電話等を通して行う、登録制によるコミュニケーションツール。

スポーツ大会結果

秋季平成杯軟式野球大会

開　催　日：８月26日、９月２日・９日
主　　催：市軟式野球連盟（塩澤實会長）
会　　場：大宮運動公園市民球場他２会場
参加チーム：24チーム
優　勝　CLUBウィングス
準優勝　石澤クラブ
第３位　ドリームス
〃　御前山キャデラック

▲優勝したCLUBウィングスの皆さん

第3回常陸大宮市近郊中学校剣道大会

開　催　日：９月16日
主　　催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会　　場：西部総合公園体育館
参加チーム：男子20チーム
女子14チーム

・男子の部
優　勝　城里町立常北中学校A
準優勝　常陸大宮市立第二中学校A
第３位　常陸大宮市立緒川中学校
〃　那珂市立第二中学校

・女子の部
優　勝　常陸太田市立太田中学校
準優勝　常陸大宮市立山方中学校A
第３位　常陸大宮市立山方中学校B
〃　常陸太田市立瑞竜中学校

電気自動車導入

常陸大宮市は、環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政がお互いに協力し、豊かな自然環境を保全し、将来世代に引き継いでいくため「環境にやさしいまち」宣言を行うとともに、環境目標を達成するために「エコアクション21」の認証を取得し、環境対策に取り組んでいます。

この度環境対策の一環として、電気自動車1台を導入しました。CO_2排出ゼロにより環境負荷の低減を図るほか、市職員が公用車として活用しながら、環境にやさしい電気自動車の普及と推進を図っていきます。

また、公用車専用の充電器を市役所駐車場の車庫に設置しました。市民の方から緊急の要請があった場合、利用できます。

また、みわ★ふるさと館北斗星（道の駅みわ）にも充電器が設置されました。利用は同館営業中に限られ、無料で90分間充電できます。

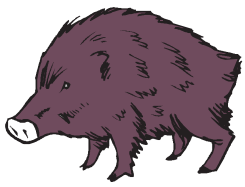
▲北斗星に設置された充電器

有害鳥獣捕獲実施

野生鳥獣による農作物の被害防止のため、７月１日から８月31日まで、市内全域で有害鳥獣捕獲を実施しました。捕獲結果は下記のとおりです。

種類＼地域	大宮	山方	美和	緒川	御前山	合計
イノシシ	8	7	7	6	4	32
ハクビシン	2	5	4	13	14	38
カラス	13	18	0	2	3	36
カルガモ	4	3	1	1	0	9
タヌキ	0	0	0	1	2	3

野生鳥獣による農作物の被害を防ぐには、電気柵などの防護柵の設置の他にも、隠れ所となる耕作放棄地や農地周辺の山林の草刈り、集落に餌を残さない取り組み（野菜くずや収穫物を放置しない等）が大切です。



市政研究サークル発足

市の政策課題等について調査・研究を行い、政策提言していくことを目的とした市政研究サークルが、16人の職員の参加のもと、８月29日に発足しました。

このサークルは、40歳未満の職員を対象とし、職員の自主活動の場として設置され、活動は勤務時間外に行い、職員が持ち寄ったテーマごとにグループとなり、調査・研究等を行っていきます。これらの活動を通して、職員相互で刺激し合い、成長していくとともに、個々の政策立案能力が高まることに期待をしています。

○活動内容

常陸大宮市が抱える少子化、高齢化、過疎化、市の一体化等の課題や取り組んでいる施策など市の政策課題について調べ、考え、共有し、問題解決のための新たな政策やアイデアを生み出すために学習や研究活動を行います。

活動によって得られた成果については、職員提案として提案していきます。

▲発足式の様子

○市政研究サークルの研究項目

1. 市政の政策形成に関すること
2. 市民サービスの向上に関すること
3. 事務の能率の向上に関すること
4. 経費の削減または収入の増加に関すること
5. 執務環境の向上に関すること
6. その他市の行政運営に関すること

御前山ダム貯水開始について

御前山ダムは、農林水産省で造った農業用水のダムで、平成10年に着工し、平成23年に工事が完了しました。

昨年7月から12月にかけて試験湛水を行い、その結果、ダムやダム湖周辺に異状が無いことが確認できたため、今年9月より水を貯め始めました。

ダムが満水になり、運用が開始されるとダムの水は、常陸大宮市のほか城里町、水戸市、那珂市、茨城町、ひたちなか市、大洗町、東海村の田畑で使用されます。

▲試験湛水中の状況（平成23年10月撮影）

御前山ダム
型　式　ロックフィルダム
総貯水容量　720万㎥
堤　高　52m
堤　長　298m
最大取水量　約4㎥／秒

■問い合わせ■
関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所
☎029-227-7571

いずみもゆく in 青森

本市の泉坂下遺跡出土品が出展中の「発掘された日本列島2012」展（詳細は広報常陸大宮6月号掲載）の近況をお知らせします。

8～9月は、青森県で展示され、ひときわ目立つ人面付土器が注目を浴びていました。

今後は静岡、大阪、鳥取で展示される予定です。

▲青森での展示の様子

救急救命士の救命処置範囲拡大に向けて

現在、救急救命士は医師の指示のもと医療行為として、気管へのチューブの挿入や心肺停止傷病者への静脈路確保、強心剤の投与が特定行為として認められています。

11月1日から3カ月間、厚生労働省や総務省消防庁から助言を受け、「救急救命士の処置範囲に係る実証研究」モデル事業に参加し、今後救急救命士が行える処置範囲を拡大させるための実証研究が行われます。

対象となる救急救命処置　※対象は20歳以上の方です。

①低血糖性の意識障害の可能性がある傷病者に対して、血糖値測定を行い、低血糖が確認された場合はブドウ糖液の投与。

②ぜんそく治療用の吸入薬（吸入β刺激薬）を所持している傷病者に対して、重傷のぜんそく発作を起こした場合にその吸入薬の使用。

③血圧が低下し、心臓が停止する危険性があるショック状態の傷病者への点滴の実施。

これらの処置には一定の時間がかかり、病院までの搬送に多少の時間を費やすことになりますが、傷病者の悪化防止や後遺症を残さないための早急に対応する重要な処置です。なお、この救命処置は、従来のとおり本人や関係者等に傷病者の状態を説明し、処置に対して理解を求め、同意を得ることが基本で、医師の指示のもとに実施される救命処置でありますのでご理解ください。

また、これらの処置を行う救命士は、あらかじめ規定の研修を修了した救命士と限られ、すべての救命士が行えるものではありません。

■問い合わせ■　常陸大宮市消防本部　警防課　警防グループ　☎54－0119